

風紋

vol.65 2020 / Spring

鳥取大学広報誌 FU-MON



在学生による直撃取材レポート！

特集

縁の下のチカラ持ち 学生支援センター

注目の
研究

触媒化学で未来を拓く
メタンを変えるゼオライトの探索

私たちの
研究室

乾燥地研究センター 農業生産部門
分子育種学研究室

トリカツ！

学生広報スタッフ
学生目線でキャンパスの今を伝える！

教養の場

教養科目「はんこ研究」

新任教員
紹介

教育支援・国際交流推進機構
教育センター / 国際交流センター

在学生による直撃取材レポート!

縁の下のチカラ持ち 学生支援センター

新学期は、期待と同じぐらい不安が膨らむもの。

入学直後の1年生はなおさら、

心細さMAXかもしれません。

そこで今号の特集では、

鳥大生を多方面で支えてくれている

学生支援センターを、

私たち学生の取材で

分かりやすくご紹介します!



やまくち たけし
山口 武視 教授
学生支援センター長

いのうえ なほ
井上 菜穂 准教授
学生支援センター
学生相談部門

まつもと ともこ
松本 奉子 さん
学生支援センター カウンセラー
臨床心理士/公認心理師

私たちが取材してきました!

きたむら むつき
北村 睦季 さん
大学院持続性社会創生科学研究科 2年

くちた ともひろ
口田 智大 さん
地域学部地域学科 2年

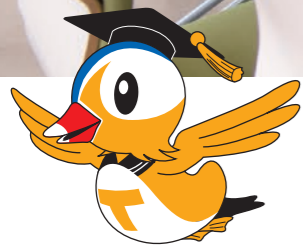
学生支援センターのこと、皆さんは知っていますか?

新学期がスタートしました。新入生はもちろん、在学生の皆さんもこれからどんな一年になるのかドキド

キワクワクしていることと思います。しかし、学業、進路・就職、サークル活動にアルバイト等々、私たち学生の悩みは尽きません。

そんなとき皆さんは、誰に相談しますか。平成30年度の鳥取大学学生生活実態調査報告書によると、約9割の学生が「自分で解決する」「家族や友人に相談する」と回答しています。でももしかすると、県外出身者が約8割を占める本学において、まだ知り合いの少ない新入生は「誰に相談すればいいかわからない」という人も多いのではないのでしょうか。そんなとき助けてくれるのが、「学生支援センター」です。

私たち取材チームは早速、学生支援センターを訪れました。すると、センター長の山口武視教授、井上菜穂准教授、カウンセラーの松本奉子さんが笑顔で迎えてくださいました。いよいよ取材開始です!



イメージキャラクター
とりりん

学生支援センター
WEBサイトは
こちら



学生支援センターに行ってみました！



鳥取キャンパス学生支援センターの様子

鳥取キャンパスはこの看板が目印！



センターの場所

鳥取キャンパスは、共通教育A棟2階にあります。とりりんマークの看板があるからすぐ分かるはず。米子キャンパスは、平成29年にセンターの米子分室が設置されました。アレスコ棟3号館2階にあり、月・金曜日は井上准教授もおられます。

相談スペース

相談スペースは部屋の奥側。パーティションで仕切られ、外からは見えないようになっています。別室に個室もあり、プライバシーが守られた状態で相談することができますので、安心です。



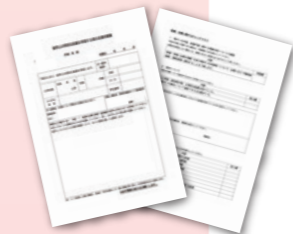
相談内容はヒミツ！

授業を受ける際にサポートが必要だと感じたときは？

「修学上の特別な配慮を希望する者の支援申請書」に記入し、所属学部の教務係に提出します。申請書は学生支援センター、各学部教務係に置いてあるそうです。新入生には入学に関する書類と一緒に送付、また、全学年を対象に毎年5月に発行されるこの広報誌「風紋」とともに保護者へ送付されます。

支援申請書は基本的に、支援を受けたい学生自身が提出します。「保護者の意向だけでなく、必ずご本人と話し合った上で提出してほしい」とのこと。必ずしも具体的な支援が必要な場合だけでなく、「とりあえず大学側に知っておいてほ

しい、というパターンもあります。提出すべきか悩んだときもセンターへおいでください」と井上准教授。申請内容をもとに、学部学科、担当教員、センター等でサポート内容が検討されます。もちろん、申請した学生自身の意向も確認しながら行われます。また、その後の経過を見て不都合があればサポート内容を変更してもらえたりとか。継続的に様子を見てもらえるのは安心ですね。



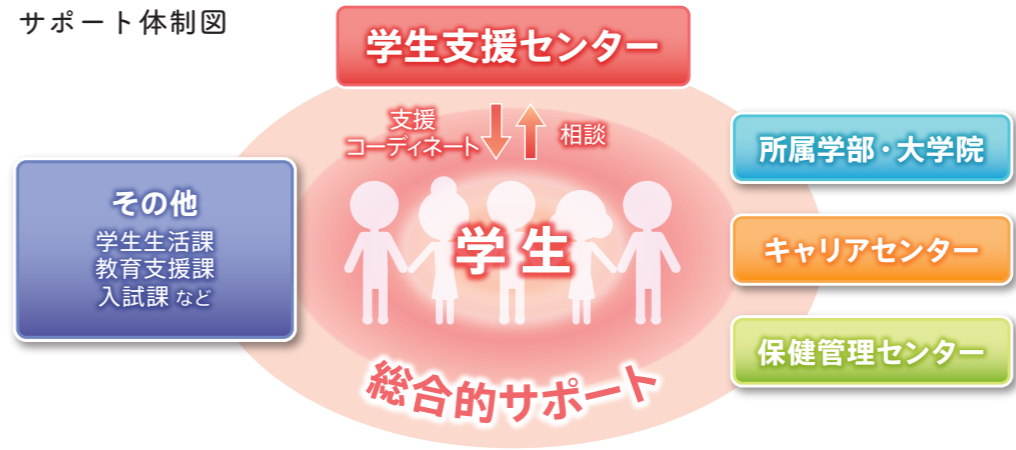
を教えてくださいとか、レポートはどこへ提出したらいいですかとか、そんな相談でもいい。共通教育棟は迷路みたいな造りだから、新入生は迷うことが結構多いんですよ」と教えていただきました。本当に何でも聞いていいんですね。

鳥取キャンパスでは、授業開始の翌日から1週間程度、昼休憩に新入生を対象とした相談会を開催しているそうです。相談にのってくれるのは先輩学生。各学部2名の学生がいるので、学部学科に関する質問はもちろん、サークルのこと、買い物や自炊のことなど、新入生のちょっとした疑問に答えます。「なんでも相談」よ

りさらに気軽だし、学部の先輩と話せる機会があるのはいいですね。●障がい学生支援部門 身体障がい、精神障がい、発達障がい、内部障がいや各種疾患のある学生が充実した学生生活を送れるようサ

ポートを行う部門です。例えば肢体不自由のある学生には、板書の撮影許可、座席指定などの合理的な配慮をしてもらえるそうです。発達障がいのある学生では、講義の録音許可、個別ティーチング・アシスタントの配置、定期的なカウンセリングといったサポートを受けることができます。

サポート体制図



鳥取大学では、各部署が連携・協力し合って私たち学生を総合的にサポートしています。その中心的な役割を担っているのが、「学生支援センター」です。センターは、「学生支援部門」「学生相談部門」「障がい学生支援部門」の3部門で構成されています。まずは各部門の役割をご紹介します。

●学生支援部門

主に課外活動(サークル活動)の支援、入学料・授業料免除、各種奨学金、学生表彰、優秀学生育成奨学金制度等多岐にわたる支援を行っている部門です。学生自身にとっては課外活動支援や、それに係る学生表彰がよく聞かれるところになります。

「なんでも相談」の運営をしている部門です。学生生活におけるあらゆる疑問や悩み、困り事を聞いてくれて、適切な解決方法をアドバイスしてくれます。相談窓口を直接訪れてもいいし、電話やメールでもOK。相談内容によっては、授業や単位のことなら学部教務係、就職のことならキャリアセンター、健康問題なら保健管理センターと、解決に導いてくれる学内外の関係機関等へつないでくれるのだから、もちろん秘密厳守です！

●学生相談部門

どんな相談でもOKと言われても、あまりにも小さな悩みはダメなのは？と思ってしまう。しかし山口センター長は、「例えば、教室の場所

お悩みをドンと受けとめて 学生生活を全力サポート！

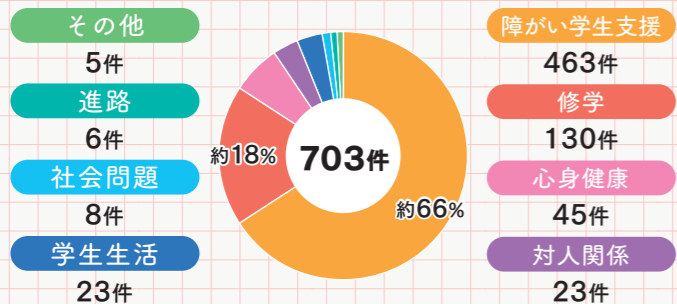
ルールに則った運営が大切。毎年1回「課外活動サークルリーダー研修会」を開催して、代表者(幹部、次期幹部候補者等)に課外活動の在り方、運営上の諸注意を促しているそうです。また、全国大会等で優勝・入賞するなど優秀な成績を収めたサークルは、「課外活動学長賞」の対象となります。その申請受付と選考を行っているのもこの部門です。



◀「本学では相談窓口をたくさん設けています。学級教員やチューター、学部の教務係、学生相談員の先生など誰でもいい。SOSを発信すれば必ずどこかにつながります」と山口センター長。

2019年の相談件数と主な内容

昨年1～12月の相談総件数(延べ件数)は703件。入学・進級直後の4～5月が最も多く、夏季休業明けの10月頃に再び増加しています。相談内容では、「障がい学生支援」に次いで「修学」に関するものが多く見られます。



【障がい学生支援】

- どのような合理的配慮が受けられるのか
- 配慮を受けるにあたり、どのような手続きが必要か など

【修学】

- 履修方法が分からない ● レポートが書けない
- 大学に足が向かず、授業が受講できない
- 研究に対するモチベーションが上がらない
- 研究とその他の活動(授業、就職活動等)の両立が難しい など

【対人関係】

- 友達ができない ● 人と関わるのが苦手
- 家族、友人、先輩・後輩、教員との人間関係トラブル など

【学生生活】

- サークル内の人間関係
- サークルを辞めたいが、どのように辞めたらいいか
- アルバイトを辞めたいが、どのように辞めたらいいか
- アルバイト先の店長からの叱責 ● 賃金トラブル など

【進路】

- 就職活動が難航している ● 社会に出るのが不安
- 自分のやりたいことが見つからない など

悩みが解決されて、「いつか卒業の時には、『ああ、あんなところもあつたな』ぐらいでセンターを通り過ぎ、次の進路へ向かってくれるのが一番」というのが先生方の願い。心から学生のために思っていることが伝わってくる言葉でした。

取材を終えて分かったこと

多くの学生が学生支援センターの取材を通して、数多くのことが分かりました。障がいのある学生のサポートだけでなく、新入生が大学に馴染むためのアシスト、在学生の悩み相談の対応等、鳥取大学に通う学生みんなの支援を行っている、とても大切なところなんですね。学内の各学部・各担当部署と学生を結び付ける機能を備えていることも初耳でした。

多くの学生が学生支援センターの取材を通して、さまざまな活動を知り、

悩みを長引かせず、健やかな学生生活を送ってほしい

「なんでも相談」は学生の味方 話すだけでスッキリするかも



▲「相談窓口では学生の話をしっかり聞き、解決に必要な情報を提供します。最終的には学生が自分で判断し、前へ進めるように。そんなサポートを心がけています」と話す井上准教授。

「なんでも相談」について、さらに詳しくお話を伺いました。

「なんでも相談」の窓口である学生支援センターには常時、3名のスタッフがおられます。鳥取キャンパスでは、学生がよく利用する共通教育棟にあるので立ち寄りやすいのですが、「初めて来るときはかなり勇気がいるみたい。ほかの人の目が気になるんですね。相当悩んで入口をウ

私たちが学生が最もよく利用する

「なんでも相談」について、さらに詳しくお話を伺いました。

「なんでも相談」の窓口である学生支援センターには常時、3名のスタッフがおられます。鳥取キャンパスでは、学生がよく利用する共通教育棟にあるので立ち寄りやすいのですが、「初めて来るときはかなり勇気がいるみたい。ほかの人の目が気になるんですね。相当悩んで入口をウ

「なんでも相談」の窓口である学生支援センターには常時、3名のスタッフがおられます。鳥取キャンパスでは、学生がよく利用する共通教育棟にあるので立ち寄りやすいのですが、「初めて来るときはかなり勇気がいるみたい。ほかの人の目が気になるんですね。相当悩んで入口をウ

「なんでも相談」の窓口である学生支援センターには常時、3名のスタッフがおられます。鳥取キャンパスでは、学生がよく利用する共通教育棟にあるので立ち寄りやすいのですが、「初めて来るときはかなり勇気がいるみたい。ほかの人の目が気になるんですね。相当悩んで入口をウ

センターはみんなが気軽に利用できる場所ですよ



有効に活用すべきだと感じた取材でした。先生方、ありがとうございます！

進路のこと

Q. 自分にはどのような職業が合っているのかわかりません。

A. まずは「自己理解」と「企業研究」を繰り返し行ってみましょう。本学キャリアセンターでは、キャリア形成や就活について学年を問わず相談できますので、ぜひ足を運んでみてください。

学生生活のこと

Q. 学外でサークル勧誘を受けました。これは大学のサークル？

A. 本学公認サークルは、勧誘活動を大学敷地内に限定しています。学外で勧誘を行う団体は大学公認サークルではありませんので、しっかり情報収集をして入会するかどうかを判断しましょう。

対人関係のこと

Q. 親しい友人がなかなかできません……。

A. 大学生活は高校までとは異なり、良くも悪くも1人になりやすい環境ですね。まずは講義で隣に座った人に一言話しかけてみませんか。サークルやアルバイト等で気の合う人に出会うこともありますよ。

修学のこと

Q. 今取っている単位数で卒業できるか心配です……。

A. 入学時に配布された「履修案内」で確認しましょう。卒業必要単位数だけでなく、学部・学科によっては進級要件や卒業研究着手要件が決まっています。詳細は所属学部の教務係が教えてくれますよ。

悩んだときは気軽に相談！

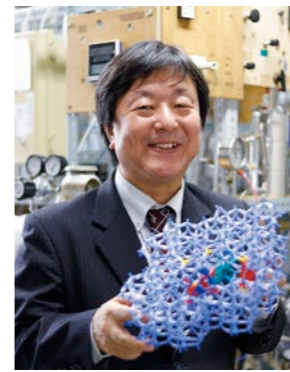
こんな相談、受けました

相談に行こうと思っても、「こんな些細な相談でもいいの?」「くだらないって思われない?」と迷ってしまう方も多いのでは。そこで相談内容の一例をご紹介します。一步を踏み出す勇気にしてください。もちろんこれ以外のお悩みでもOKですよ!



注目の研究

触媒化学で未来を拓く メタンを変える ゼオライトの探索



かただ なおのぶ
片田 直伸 教授
工学部化学バイオ系学科

専門 固体触媒化学
趣味 料理／旅行

石油に代わるかもしれない次世代の有望な資源であるメタン。豊富な埋蔵量が見込まれていますが、はたして有効に利用できるのでしょうか。私たちは、その鍵を握る触媒化学の最先端研究に挑んでいます。

石油依存への将来的な不安

固体触媒化学を専門とする私たちのグループは今、戦略的創造研究推進事業(CREST)〔注1〕に採択された「メタンによる直接メチル化触媒技術の創出」をテーマに、さまざまな先進的な研究を行っています。

テーマの中に「メタン」と「触媒」〔注2〕を採り上げているのは、将来的に枯渇が予想される石油資源や、それを利用した化学製品の製造、さらには二酸化炭素排出による地球温暖化などのグローバルな環境問題においても重要な課題が目の前にあるからなのです。

石油もメタンも化学的には炭素と水素原子でできた化合物「炭化水素」で総称されます。石油(原油)の成分は触媒技術によって作り替えられ、ガソリン、軽油などの燃料およびプロピレン、ベンゼン、トルエンなど化学原料が生産されています。ガソリン、軽油は身近ですが、将来にわたって消費量が増加し続けると考えられているのはプラスチックや合成繊維の源となる化学原料です。遠い将来かもしれませんが、燃料の消費は省エネ技術や自然エネルギーの利用で抑制される可能性があります。しかし世界中の人々の生活水準が向上するに

伴い、プラスチックや合成繊維の需要は増え続け、ブレーキがかかる兆しはありません。

埋蔵量の少ない石油に依存し続けるばかりだと、将来の私たちの生活はどうなるんだろう…という疑問や不安が起こるのも不思議ではありません。そこで、私たちは石油と同じ炭化水素であるメタンを化学原料に転換する方法を考えてきました。

では、今なぜメタンなのか？

メタンに注目するのは、石油に代わる炭化水素資源として期待される在来型の天然ガス(LNG)、シェールガス、メタンハイドレートなどの主成分がまさにメタンであり、その埋蔵量や可採年数が石油などに比べて格段に多いと見込まれているからです。鳥取県沿岸の日本海底にもメタンハイドレートは存在します。

しかしメタンの用途は、現状では発電や都市ガスなど気体燃料としてのものがほとんどで、ガソリンのような液体燃料にも化学製品にも使えません。現在まで、メタンが引き起こす化学反応は炭素(黒い炭)と水素に分解する、燃えるといった単純な反応しか知られていないからです。とはいえ、

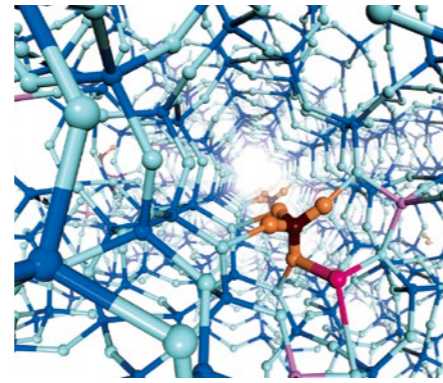


写真1 Co/MFIゼオライト内で起きている反応の想像図

これらの単純な反応を途中で止めて経路を変え、有用な物質を生成させることは不可能ではないはずですが、そこで欠かせないのが、特定の経路の反応のみを高速化する触媒です。私たちの研究グループが取り組んでいるのは、メタンの反応経路を変える新たなゼオライト触媒の開発なのです。

ゼオライトは直径200万分の1ミリメートルほどの規則的な細孔を持つ固体の一群で、主に珪素と酸素から構成されていることは、砂、ガラスなどと同じですが、原子の並び方に特徴があり、そのために多彩な機能を持っています〔注3〕。現在までに248種類の構造を持つゼオライト類(構成元素の異なるゼオライト類(緑化化合物を含む)が天然に産出するか、合成されています)。

ゼオライト触媒を人類の進歩へ

私たちは、MFI型〔注4〕と分類されるゼオライトの細孔中に分散したコバルトイオンの上で、メタンとベンゼンからトルエンが生成することを発見しました。ガラス管にこのCo/MFIゼオライトの粉を詰め約550℃に保ち、入口からメタンとベンゼンを流し続けると、出口からトルエンが定期的に流れ出てきます。トルエンはペットボトルの材料であるPET(PET)という物質の原料ですから、従来は100%石油から作られていたPETボトルの原料の一部をメタンで置き換えることになり、化学工業にメタンを導入する第一歩となります。

現在は、さまざまな分析法を考案



写真2 私たちが開発した固体上での反応解析装置

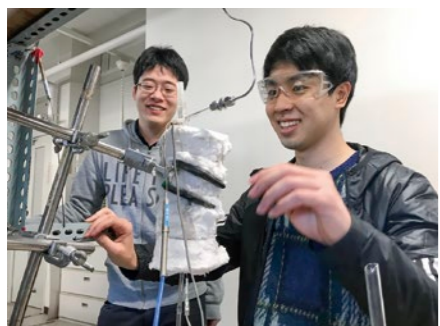


写真3 メタンを流通させる実験に取り組む学生

し、多彩な構造を持つモデル触媒をつくって比較するなどして、ゼオライトとコバルトの役割を明らかにし、さらに活性の高い触媒を見つけようとしています。

ゼオライトにコバルトのような原子を入れると、他の環境では見られない反応を見せます。元素の性質が変わってしまうので「現代の錬金術」〔賢者の石〕とも呼ばれます。この10年ほど、これらの魅力的な仕組みの理由がしだいに解明されてきており、使いこなせるようになってきています。解明されるとロマンが少なくなりますが、現在のこの研究に携わるメンバーは、ゼオライト触媒の謎解きを解明する特権を持ち、なおかつ、それが人類の繁栄に貢献できるという楽しさを味わっています。

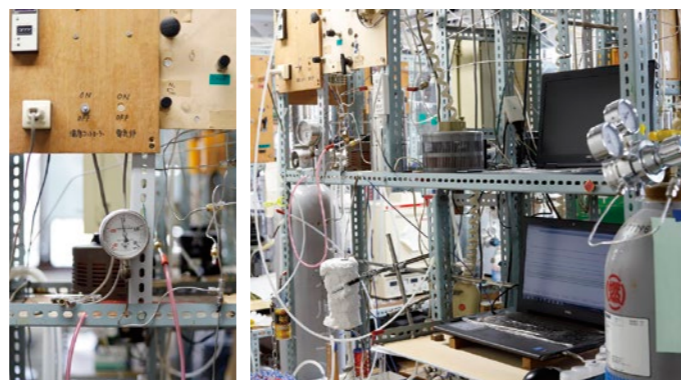


写真4 研究室の学生たちと試行錯誤しながら製作した実験装置。手書きのスイッチ名や剥き出しの配線など手作り感満載。

〔注1〕CREST 国の戦略目標に向けた研究推進制度。本研究テーマには2017～2022年度に研究費3.5億円が支給され、鳥取大学をリーダーとして東京大学、工学院大学を含む4チームが取り組んでいる。参加する学生の公費での海外長期派遣も定期的に行っている。

〔注2〕触媒 化学反応を引き起こし、反応が「巡ると自身は元に戻る」ので、他の物質の反応を繰り返し促進する働きを持つ物質。

〔注3〕ゼオライト イオン交換、吸着、固体酸性の機能を持ち、原油の成分からガソリン成分や化学製品を合成する触媒、洗剤中の水軟化成分、魚の水槽の浄化剤、農地の土壌改良剤、二重窓の防曇用除湿剤、酸素濃縮やデシカント冷房用吸着剤などとして利用されている。水中の特定のイオンを除去する機能もあり、福島での原発事故以後は放射性物質の除去のために利用されている。

〔注4〕MFI型 ゼオライト類の構造は国際ゼオライト学会連合(IZA)が与える3英大文字のコードで表される。MFIは冒頭の写真で片田が持っている模型の構造。Mobil R&D社(当時)が5番目の試料として発表した新規物質であったことから「Mobil Five」よりMFI。



乾燥地研究センター 農業生産部門

分子育種学研究室

担当教員 辻本 壽 教授

植物の育種を通じて世界情勢の安定に貢献



コムギの成長を観察する様子

＼直近5年以内の／

卒業生の主な進路

農業・食品産業技術総合研究所
北海道立総合研究機構中央農業試験場
株式会社フジタバラダイスパーク
大江ノ郷自然牧場、スーダン農業研究機構

地球の陸地の約40%を占める乾燥地では世界人口の3分の1が生活しており、今後もその地域での人口増加が予想される。一方で、地球温暖化などで気象は刻々と変化し、食糧生産にも大きな影響を与えている。深刻な食糧不足は国家的な情勢不安などの問題を引き起こしている。

そうした世界的な問題に取り組むため、国内外から多く研究者が集まるのが、鳥取大学が誇る乾燥地研究センターだ。分子育種学研究室では、乾燥地や気温の高い場所など、過酷な環境に耐える作物を品種改良し、植物の育種を通じて世界情勢の安定に貢献している。

センターの約40人の学生のうち4分の3は外国籍で、分子育種学研究室内では英語が公用語となっている。海外とのネットワークも豊富で、日本にいながら世界の情報が常に入ってくる乾燥地研究の拠点だ。

辻本教授がいつも話すことは「学生は教授を追い抜かなければ科学の進歩はない」。経験値や学年に関係なく、自由に討論してグローバルな視点を持つ研究者を育成する。鳥取の砂丘地は、世界の乾燥地とつながっている。

多様なコムギを育て より良い品種を開発

世界三大作物といわれるイネ・コムギ・トウモロコシ。中でもコムギは乾燥に強く、食糧生産の難しい乾燥地で最も貴重な作物の一つといえる。しかし、地球規模の気候変動により、将来的にコムギの生産が不足することが危惧されている。

このコムギを中心に、遺伝子工学や染色体工学などの技術を駆使し、乾燥や高温などの様々なストレスに強い作物を開発。多様性の中から、よりストレスに強い品種を見極め、センタール内で最新機器により世界の乾燥地と同じ条件下で試験栽培したり、アフリカにある大規模なほ場で実証栽培したりして、すばらしい成果を發揮している。

日本が消費するコムギの85%は多くが乾燥地からの輸入。豊かな日本の食卓は、乾燥地の畑とつながっている。



つじもと ひさし
辻本 壽 教授
乾燥地研究センター
副センター長

菌の力を使って
虫に強いコムギを開発！



かとう そうま
加藤 颯真さん

大学院持続性社会創生科学研究科
国際乾燥地科学専攻 修士課程1年

内生菌を人工接種し 昆虫食害耐性を持たせる

エンドファイトという植物体内で生活する共生菌を人工接種することで、昆虫に対する食害抵抗性を持つコムギの開発を目指しています。

エンドファイトが生息する植物はストレス耐性が上がり、病気に強くなったりという効果が確認されています。これまで、コムギにエンドファイトを接種すると背丈が小さくなり、種子も得られませんでした。ニュージーランドとの国際共同研究によりエンドファイトを接種しても種子のできるコムギ系統が発見されました。

私はその研究を引き継ぎ、将来的には昆虫の食害耐性だけでなく、環境ストレス耐性もある品種の開発ができたらと考えています。



多くのコムギの中から
高温に耐える品種を選定！



まつなが さちこ
松永 幸子さん

大学院連合農学研究科
国際乾燥地科学専攻 博士課程2年

高温に強い品種の特徴から 効率の良い選抜方法を探る

気温が高くても安定して収穫量が得られるコムギの品種を、様々な遺伝子を有する集団の中から効率よく選抜する方法を開発しています。

これまでの研究から高温に強いコムギが見つかったので、それらに共通する植物ホルモンやアミノ酸、脂質などの代謝物質を見つけ出し、収量との相関関係があるものを特定することで、遺伝子解析まで行わなくても代謝物質の違いから、集団の中の高温ストレス耐性があり収量の高い品種を選定することができると考えています。

選定した品種を掛け合わせて、より暑さに強く収量も安定したコムギを作ることを目指します。



乾燥耐性コムギの開発で
世界の食糧難を救う！



マイケル イタム
Michael Itamさん

大学院連合農学研究科
国際乾燥地科学専攻 博士課程2年

多彩な遺伝子の中から 乾燥耐性を持つ品種を選抜

世界中の乾燥地で栽培が可能なコムギの系統作成を研究しています。コムギは乾燥に強い作物とされてきましたが、現在は地球温暖化が進み、多くの地域でさらなる乾燥化が問題になると予想されます。

特にアフリカではコムギは貴重な食糧ですが、今後、さらに乾燥が進んでも収量が得られるよう、より乾燥に強いコムギを開発しておくことが重要です。

研究室では既に様々な遺伝子を持つコムギの集団が育種されています。私は鳥取のセンター内にあるほ場とアフリカのスーダン共和国にあるほ場に出向き、その集団の中からより乾燥に強い品種の選抜に取り組んでいます。





トリセツ

ができるまで!

—鳥大説明書—

毎号およそ4か月かけて、丁寧に制作しています。完成したトリセツは我が子同然の愛しさです!

【取材】



学生や教員の方にインタビューしたり、各種イベントや学内の施設に潜入したり。鳥大のいろんな情報を得ることができるので楽しい!

【入稿】



原稿案が出来上がったら、印刷業者と綿密な打ち合わせを行います。私たちのこだわり、細かな要望を伝える、とても重要な機会です。

バックナンバーも最新号もPDFでご覧いただけます。
<https://www.tottori-u.ac.jp/4083.htm>



【企画】



ミーティングで意見を出し合い、紙面内容を決めます。米子のスタッフはWeb会議で参加。役割分担し、取材準備に入ります。

【制作・編集】



取材内容を基に原稿を作成。レイアウトや配色も自分たちで考えます。ミーティングで加筆修正を行い、より分かりやすい紙面を目指します。

【校正】



完成まであと一歩! 印刷業者から届いた紙面案を見ながら再度スタッフミーティング。全員が納得するまで何度も話し合います。



CHECK THIS OUT!

鳥大生の活躍を紹介します

学生広報スタッフ

トリカツ!



学生目線でキャンパスの今を伝える!

これを読めば鳥大が分かる!
リアルな大学生活を楽しく解説

「節約術」「カバンの中身」「空きコマ実態調査」「自炊奮闘録」等々、ユニークな切り口で鳥大生の日常生活や本音などを発信する学生情報紙「トリセツ—鳥大説明書—」。これを制作しているのは、「学生広報スタッフ」のメンバーだ。

本学総務企画課の事務職員と連携する学生ボランティアで、部活でもサークルでもないが、掲載記事の企画から取材・写真撮影、原稿作成、編集まで手がけており、本格的な広報活動を展開している。

メンバーの多くはこれまでに情報紙を作った経験はなく、先輩や職員に教わりながら少しずつノウハウを覚える。「文章を書くのは苦手だったが、記事を何度も書き直すうちに『書く力』が付いた」と西村勇輝さん(工学部3年)も。沼田美咲さん(地域学部3年)も、「取材で初対面の人と話すから、コミュニケーション力が上がった」という。「普段交わることのない他学部の面白い先生、特色ある研究を知ることができる(榮成年さん・農学部3年)」のも楽しいところ。

学生ならではの目線、等身大の言葉

で綴られる内容は親しみやすい。大学生活の楽しさ、夢や悩み、驚きがいっぱいで、読んでいると自然に顔がほころぶ。

母校愛深まるグッズ開発も

彼らの活躍はそれだけではない。本誌「風紋」では、サークル紹介の記事を担当する。また、SNSを活用したこまめな情報発信も。昨年12月開催の「キャンパス駅伝」では、盛り上がるの様子を臨場感たっぷりの写真とともにSNSにアップした。

鳥大オリジナルグッズのプロデュースにも関わり、これまでに「瓦煎餅」の包装紙、「とりりんLINEスタンプ」等を考案。昨年度はキャンパス12景の写真が美しい「創立70周年記念カレンダー」を制作し、新入生全員と学内関係者に配布した。好評により、新たに令和2年版が増刷されたとか。こうした数々の活動は、皆の「鳥大愛」を育んでいると言っても過言ではない。

津田将吾さん(大学院持続性社会創生科学研究科2年)は、「みんなで悩んだ企画が、実際の形になると感動します」とやりがいを口にする。アイデアはまだたくさんあるようで、次の仕掛けが楽しみだ。

新任教員紹介

MEET OUR NEW TEACHERS

令和元年10月から教育センター外国語部門で英語を担当しておりますケビン・バートレットと申します。オーストラリアのメルボルン出身です。来日まではオーストラリアの中学校・高等学校で日本語、英語文学と社会の教員として勤めて、平成17年に大学院を修了した後、日本で外国語、教育学、国際関係学の教員として勤めました。もっと役に立つために、日本で働きながらイギリスの大学院で修士を、そしてオーストラリアの大学院では修士と博士を取得しました。研究専門は応用言語学、第二言語習得、社会学と日本学で、鳥取大学でも同じテーマについて研究を進めていきたいと思っております。

言語学習を通して、学生の将来の夢をサポート



鳥取大学着任日：2019年10月1日

教育支援・国際交流推進機構
教育センター 外国語部門

ケビン バートレット
Kevin BARTLETT 准教授

専門 応用言語学/第二言語習得/教育学/日本学
趣味 テニス

私の教育者・研究者としての

モットーは、学生個人の学力だけでなく、性格や環境などといったバックグラウンドをできるだけ把握し、接し方はもちろん、それぞれの英語力に合わせた課題を検討することで学生の自発性を促すことです。これまでの経験を生かし、学生のニーズを捉えて、授業や研究に取り組んでいきたいと思っております。また、学生が卒業後、それぞれの現場で社会人としての世界文化の捉え方や、ただ講義を受講するだけでは気付かないような新たな視点や点を身に付けることにもつながるとうれしいです。



鳥取大学着任日：2019年10月1日

教育支援・国際交流推進機構
国際交流センター 留学生指導部門

かぶらぎ えみ
蕪木 絵実 助教

専門 留学生教育/グローバル教育
趣味 編み物/シュノーケリング/ハイキング

グローバルな経験を通して人間力を磨く

国際交流センターに留学生指導部門の助教として着任する以前は、鳥取大学大学院連合農学研究所で博士号を取得してから4年半の間、プロジェクト研究員としてメキシコと鳥取を行き来しながら、養殖・水耕栽培・露地栽培結合型食糧生産システムの開発に従事していました。このように、私の経歴を聞いた人は専門とする職務を変更したことに對して大変驚かれますが、実はメキシコでの研究経験が、留学生指導や学生のグローバル教育という面でとても生かされています。

海外では、思うように物事が進まず、困難にぶち当たることも多々あります。私自身は、そのような経験をを通して、自ら考える力や柔軟に物事を考える力を養うことができたと感じています。学生の皆さんにもさまざまな経験を通して大いに葛藤し、そこから学んだことを糧に、社会に貢献して欲しいと思います。

私は神奈川県出身ですが、鳥取に来てから約10年になります。鳥取は透明で美しい海や、季節ごとに色を変える美しい山に囲まれており、アウトドアが趣味の私にはぴったりの場所です。また、昔から伝わる伝統行事なども多くあります。学生の皆さんには、ほかにはない鳥取の良さについてもぜひ発見してもらいたいです。

現代社会で 生きる力を磨く

教養の場



豊かな教養と幅広い視野を備えた
素敵な大人になるための
『全学共通科目』を
ピックアップしてご紹介します。

はんこ研究



教養科目

「はんこ」は、「真」や「信」を示す印(しるし)として広く使われています。そして、その小さな印面には、持ち主にとってなじみ深い文字が、少し神妙な顔をして並んでいます。身近にありながら、ちょっと不可思議な道具、印章について考える授業です。

まず書いてみる、刻んでみる！
身近なモノから文字文化を考えよう！



「はんこ(ハンコ・判子)」と親しみを込めて呼称されることの多い、私たちの生活を支える小さな道具、印章。その歴史やそこに刻まれている文字の形について学ぶことは、文字をめぐるモノとコト、つまり文字文化を考える上で、とても有意義なことではないでしょうか。

印面に刻まれている文字の多くは、「篆書(てんしよ)」という最も古い書体で書かれています。授業では、まず篆書体の文字を書くことで、文字の成り立ちを理解します。次に、刻みたい文字を印面にどのように収めるかを考えながら、原稿を作ります。一辺三センチに満たない小さな印面が、

一つの「小宇宙」となるように、文字の大きさや配列を工夫します。そして、いよいよ実際に石に文字を刻みつつ、二千年以上前から続く文字文化の世界を体験するわけです。

そもそも印を使う目的は、文書の中身が見られないように、封をすることにありました。「印を押す」ことが「本物」や「本当」などの意味を表すようになったのは、その後のことです。「はんこ」文化は、現在の私たちの生活においても、深く息づいているといえるでしょう。それは、例えば「印象」の語が、心に「押印」された形やイメージのことを指すことから分かります。



担当教員



すみかわ ひであき
住川 英明 教授
地域学部 地域学科
人間形成コース



受講した学生の声



さとう ゆき
佐藤 悠希 さん
地域学部地域学科地域創造コース2年

● この授業を選んだ理由は？

授業内でははんこ制作ができると知り、もともと創作活動が好きだったので受講しました。座学だけでなく、制作活動を通して「はんこ」への理解を深め、歴史・文化を学ぶことができるのは、とても面白いです。

● 授業を受けた感想は？

私は10文字のはんこを制作しました。文字数が多いため、文字の線が細く、デザインを書く際にも彫る際にも大変でしたが、大きな達成感を得られました。教室で黙々と作業に没頭できるので、座学だけでは物足りないという方にお勧めです。

各学部・研究科において 学位記等の交付を行いました

2020.3.6 / 3.18



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月6日(米子キャンパス)・3月18日(鳥取キャンパス)に開催を予定しておりましたが、「令和元年度鳥取大学卒業式・学位記授与式」は中止となりましたが、各学部・研究科において、学位記等の交付を行いました。

今年度は、学部生1,076名(地域学部195名、医学部260名、工学部409名、農学部212名)、修士(博士前期)課程316名、博士課程36名の計1,428名が卒業・修了し、それぞれの決意を胸に新たな一歩を踏み出しました。

なお、学長の告示はHPにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

[学長告示] <https://www.tottori-u.ac.jp/item/17397.htm>



鳥取キャンパス 広報センターと附属図書館に オールジェンダートイレを設置 2020.3.9



広報センタートイレ
ベビーシートは利用時以外、壁に固定

ダイバーシティキャンパス推進室では、平成28年度(旧男女共同参画推進室)よりLGBTの理解を深めるセミナーを毎年開催する中で、参加者より「性別を区別しないトイレ(全個室)が欲しい」「トイレなど改善点があるように思う」などのご意見をいただいております。

本学では多目的トイレを各棟に設置しておりますが、今回設置した2カ所のトイレは、車いすで利用できるだけでなく、オストメイトやベビーシートなども備えており、性別を含めたバリアフリートイレとして表記し、設置することとしました。

今後も状況を見ながら、学内の設備等について検討していきます。

本学医学科学生を対象に 「低侵襲外科センター体験セミナー」を開催 2020.2.11



本セミナーは、外科系の診療科(消化器外科、心臓血管外科、泌尿器科、胸部外科、頭頸部外科、女性診療科、脳神経外科、整形外科、麻酔科)、MEセンターおよび看護部が協力し、学生に低侵襲手術や外科系の診療科に興味を持ってもらうことを目的として、内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ」など最先端の医療機器を使用した模擬手術を体験してもらうものです。

当日は、33名(医学科1年から5年生)が、各診療科医師の指導の下で手術室やシミュレーションセンターにおいて計9診療科のうち希望する3診療科を体験しました。学生たちは日頃できない体験に興味深く取り組んでいました。

国民年金の学生納付特例事務法人 指定通知交付式を行いました

2020.3.30

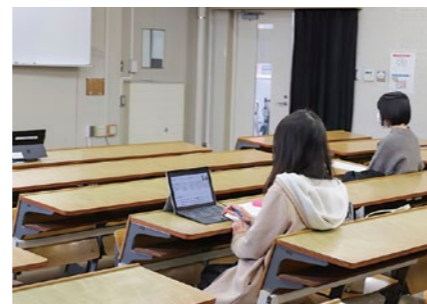


このたび、本学は中国地方の国立大学で最初に、学生納付特例の申請受付業務を代行する法人として指定を受けることとなりました。学生納付特例制度とは、国民年金の保険料の納付義務がある20歳以上の学生について、申請により在学中の納付が猶予される制度です。申請が許可されると保険料猶予のほかに、学生生活で障害を負った場合に障害基礎年金等が支給されます。従来、住民票のある自治体の役所で行っていた申請手続きは、今後学内の窓口で可能になります。

式では、厚生労働省中四国厚生局の大鶴局長から、年金行政に対する理解へのお礼があり、指定通知書が交付されました。

本学キャリアセンター主催 「新型コロナ問題に負けるな！ Web就活体験会」が開催

2020.3.30



本催事は、Web上での就職活動が展開される動きが加速している中、Web就活が必要となるオンライン会議ツール(アプリ)の使用機会を提供することで、疑問や不安を解消することを目的としたものです。

当日は、県内で学生の就職活動を支援する民間団体「とっとり就活Lab」の山口翔馬代表のガイダンスの後、県内企業人事担当者によるオンラインでの企業説明を体験しました。

参加学生からは、「アプリの基本的な操作方法を細かく教えてくれたため練習になった」との声があり、新たな就職活動の手段となりつつある「Web就活」について熱心に学ぶ学生の姿が見られました。

医学部附属病院に 「ロービジョン相談窓口」を開設

2020.2.17



本学医学部附属病院に「ロービジョン相談窓口」が開設され、平井鳥取県知事をはじめ、関係者による看板掲げを行いました。

ロービジョンとは、病気やけがなどによって視力低下や視野障害が生じ、その失われた視機能が回復する可能性が低い状態のことをいいます。医学部附属病院では、平成31年4月からロービジョン外来を始めておりますが、このたび鳥取県のロービジョン相談支援の拠点として「ロービジョン相談窓口」が開設されました。ここでは、ロービジョンの方々の生活や就労、医療や福祉に関する悩み、課題などを電話で相談いただき、適切なサポートにつなげていきます。

令和元年度鳥取大学大学院 エンカレッジ・ファンド授与者を表彰

2020.2.14



本学広報センターでエンカレッジ・ファンド表彰式を行い、工学研究科、連合農学研究科、共同獣医学研究科の受賞者15名のうち11名が出席しました(医学系研究科の受賞者8名については、米子地区で別途表彰)。

表彰式では中島学長から「これをきっかけに一層研究に励んでいただき、次に続く人たちの手本となってほしい。壁にぶつかったときも、諦めず、地道に努力して、研究者として日本の研究を支えていただきたい」と励ましの言葉が贈られました。

学生代表者からは、感謝の言葉とともに「これからも不退転の決意で研究活動に挑んでいきます」と謝辞がありました。

WHAT'S NEW?

大学の動き

在学生の活躍や大学の取り組みなど、
鳥取大学の最新情報をご紹介します。



大学からのお知らせ

INFORMATION



【令和元年度 後期課外活動学長賞 表彰一覧】

課外活動学長賞は、学生の課外活動の充実と更なる活性化を図ることを目的として、特に優れた活動を行った学生団体等を表彰する制度です。

サークル名	表彰チーム/個人名	表彰の理由
競技かるたサークル	久田 梨乃	第10回全国競技かるた岡山大会 C級 優勝
	西川 悠	第69回高松宮記念杯近江神宮全国競技かるた大会 D級 優勝
	松原 礼佳	第101回全国競技かるた大阪大会 D級 優勝
	チーム時空の歪み	第8回おつ光ルくん杯百人一首競技かるた大会 3人団体戦B 紫式部ブロック 優勝
書道部	沖 あかり	第43回全国学生書写書道展 公募の部自由 優秀特選
放送部	放送部	第36回NHK全国大学放送コンテスト 映像番組部門 入選
L.cat	L.cat	第39回全日本学生ソフトテニスオープン選手権大会 団体男子セカンドカップ 準優勝
体育会探検部	我愛流急	第5回全日本レースラフティング選手権大会 スプリント総合男子ジュニア部門 優勝
医学部ラグビー部	医学部ラグビー部	第40回中国四国医科学生ラグビーフットボール大会 第1位
医学部陸上競技部	藤田 佳委	第42回中国四国学生陸上競技選手権大会 男子5000m 第1位
		第42回中国四国学生陸上競技選手権大会 男子3000mSC 第1位
	新藤 有夏	第26回関西西歯薬科学生対校陸上競技大会 女子共通100m 第1位
		第26回関西西歯薬科学生対校陸上競技大会 女子共通200m 第1位
	池田 弘佑	第74回国民体育大会 陸上競技 成年男子400m 第2位

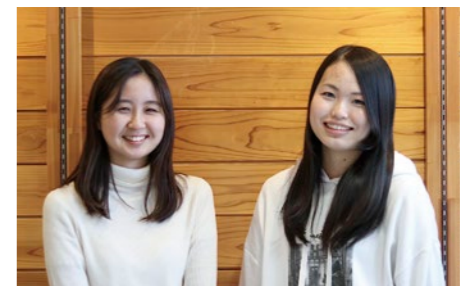
この春にご入学された皆様、保護者の皆様、おめでとうございます。本来であれば4月の入学式で新入生を迎え、5月には少しずつ新生活に慣れてきた学生の姿を見ることができたはずでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学内行事は中止となり、また新入生の皆様は特に楽しみにされていた大学生活の開始が延期となり、大変残念に思っているところです。一刻も早い、コロナ禍の収束を祈念する次第です。さて、本号では、感染症とは直接関係ありませんが、本学の保健管理センターと共に学生の健康状態、特に心のケアを担っている「学生支援センター」を特集しました。近年の学生による相談件数の増加により、人員も増強し、取り組みをさらに強化しています。読者の皆様におかれましては、本学の学生を見守る取り組みへの、さらなるご理解とご協力をいただくと幸いです。今年度も広報誌「風紋」をどうぞよろしくお願いたします。

(T・A)



Circle Activities

放送部は、発足から4年と比較的新しいサークルで、学内外のイベントの司会を主な活動としています。日頃は毎週水曜日の部会で発声練習やイベントの準備をしており、学内外から依頼があった際に司会の仕事を務めます。学内では入学式やオープンキャンパス、卒業式といった大学主催のイベントだけでなく、文化系サークルの発表会の司会もしています。学外では地域の催しの司会などをしており、昨年度は「因州若桜鬼っ子まつり」の司会アシスタントを務めました。たくさんの方の前で司会やコメントをすることはとても緊張しますが、その分達成



副部長(左) さとう ゆき 佐藤 悠希さん 地域学部地域学科 地域創造コース 2年

部長(右) やまだ ももか 山田百々花さん 地域学部地域学科 国際地域文化コース 2年



感も大きいです。また学外での仕事は、鳥取大学の学生全体のイメージを背負うことになるので、態度や行動には気を付けています。その他の活動としては映像作品の制作もしており、昨年のNHK全国大学放送コンテスト(Nコン)の映像番組部門では予選を突破し、入選を果たしました。独自の映像作品や企画動画を投稿しているYouTubeチャンネルの運用もしています。

より多くの人に鳥取大学放送部の存在を知っていただき、さまざまなイベントや催しに携われるよう頑張っていきます。また、Nコンでは映像番組部門だけでなく、他の部門にも積極的に参加していきたいです。

学生広報スタッフがインタビュー!!
サークル紹介
放送部



【令和元年度 科学研究業績表彰】



出席者による記念撮影

表彰式に出席した4名に学長から表彰状が授与され、併せて日ノ丸報恩会常務理事で本学名誉教授の中尾喬一様から副賞(日ノ丸報恩会奨励金)が贈呈されました。

科学研究業績表彰は、本学教員の中から、科学研究業績(権威ある学術雑誌・紀要等に掲載されるか又は著書として刊行されたもの)が特に優れていた教員を表彰するもので、昭和29年(1954年)から毎年行われています。

<https://www.tottori-u.ac.jp/item/17352.htm>

地域学部 畑 千鶴乃 准教授

論文題目 「子どもの権利最前線 カナダ・オンタリオ州の挑戦 子どもの声を聴くコミュニティハブとアドボカシー事務所」

医学部 藤原 和典 准教授

論文題目 Novel mouthpiece for reducing the gag reflex during esophagogastroduodenoscopy (上部消化管内視鏡検査用新規マウスピースの咽頭反射軽減効果の検証)

工学部 高部 祐剛 助教

論文題目 Utilisation of polarity inversion for phosphorus recovery in electrochemical precipitation with anaerobic digestion effluent (転極を活用した電解晶析法による消化脱離液からのリン回収)

農学部 清水 克之 准教授

論文題目 Development of an emergency device and an early warming system foe flood at irrigation ponds. (ため池利用洪水対策のための緊急放流装置と早期警報システムの開発)



読者アンケートにご協力いただいた方へ
プレゼントが当たる!

今後のよりよい誌面作りのために、皆様からのご意見やご要望をお待ちしています。アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様にプレゼントを進呈いたします。

アンケートのご回答はこちらから

プレゼント応募締切 | 7/31(金)

※ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送以外には使用いたしません。また、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



鳥取大学 瓦煎餅

学生広報スタッフが
包装紙を
デザインしました!

合計
5名様



どちらかのデザインをプレゼント!

第25回全国菓子大博覧会
名誉総裁賞受賞

第26回全国菓子大博覧会
橘花栄光章受章



山陰の味
登録商標

大風呂敷

※写真はイメージです

今も昔も皆様に愛され続ける菓子作り



宝製菓株式会社

鳥取県東伯郡琴浦町逢東1075-265

☎0858-49-5555

http://takara-seika.co.jp/



この技術、
みんな
地域のために

サンイン技術コンサルタント株式会社



挑む、創る、未来

TOTTORI
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

風紋のバックナンバーは、こちらから

www.tottori-u.ac.jp/fumon



鳥取大学広報誌

検索

鳥取大学に関するお問い合わせ

- 入学試験 0857-31-5061
 - 公開講座・社会貢献 0857-31-6777
 - 授業料納入 0857-31-5029
 - 研究・産官学連携 0857-31-5608
 - 学生・学生生活 0857-31-5053
 - 学生就職支援 0857-31-5456
- その他はホームページ <https://www.tottori-u.ac.jp/ask/> をご覧ください



鳥取大学
Tottori University

編集発行 / 広報委員会広報誌編集専門委員会

2020年5月発行

會見忠則 (委員長・農学部)
辻 渉 (農学部)

武田信吾 (地域学部)
滝波 稚子 (教育支援・国際交流推進機構)

西村正広 (医学部)
保坂理和子 (研究推進機構)

塩崎 一郎 (工学部)
米本善則 (総務企画課)

〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 TEL.0857-31-5006 FAX.0857-31-5018

[E-メール] toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp [ホームページ] <https://www.tottori-u.ac.jp/>